

やた はな組

2016/3/14 (月)、第12回「やた はな組」を開催しました。
その時の様子を簡単に報告させていただきます!!

矢田圏域勉強会「やた はな組」を東住吉区南部文化コミュニティーセンターにて開催しました。

今回は「介護と医療」の勉強会として、矢田圏域で働かれているケアマネ、ヘルパーのみなさんに参加いただきました。

テーマは「高齢者の心の相談」、東住吉区保健福祉センター(健康づくり)森元 精神保健福祉相談員から、高齢者のうつ、睡眠、アルコール依存症について解説いただき、保健福祉センターにおける精神科相談や断酒



森元相談員の講義

会の紹介を行いました。

「訪問看護ステーションやぎ」 水野看護師からは、精神症状の患者・利用者との関わり方や支援について、事例を交えながら紹介いた

きました。参加者からも実際に関わったケースのことを思い出しながら、質問や意見を出していただけだったので、講義の内容を深めることができました。



水野看護師の講義



在宅ケアでは複数のスタッフが対応するので日々の連携が重要であることや、特にアルコール依存症の利用者の支援については、よかれと思っでの介護が本人の自覚を促すことを阻む結果になると聞き、専門職としてまた新たな道が見えてきたように思います。

参加者の感想：「訪問看護の意見を聞いてよかった。「アルコール依存の方の接し方、事業所で共有して役立てたいです。」

「アルコール依存の方に対して、しりぬぐいの対応でおわっていただきました。底つき体験をして頂いて、そこで現状を把握してもらい、本人の意識改革へ結びつけてゆく大切さ、チームケアの大切さを学ぶことができました。」



「やた はな組」では、できるだけ参加された方々に、自分の考えを自分の言葉で話していただき、他の人の意見も聞き、何らかの答えは参加者が自ら導き出してもらいたいと考えています。

地域における支援の担い手として、一人一人が力をつけていただいたなら、矢田の地域にとって、何より心強い存在になっていただけることと思います。

ご協力いただいた森元精神保健福祉相談員、訪問看護ステーションやぎ：水野看護師、参加いただいた専門職のみなさん ありがとうございます。

次回「第13回 はな組」にも、みなさまの参加をお待ちしています。

「やた はな組」は、参加される皆さんの意見を反映させ、自由につくっていきたくと思っています。皆さんの要望や意見もお聞かせください!!

矢田地域包括支援センター
電話 06-6694-5552 E-mail houkatu@karan.or.jp

